

第3学年 道徳

道徳的価値である「節度・節制」をもとにスマホ使用に関わる自分の生活を見つめ、多面的・多角的に考える学習を通して、進んでよりよい生活を送ろうとする態度を育む授業

二本松三中 大沼 仁

1 本教材における夢中になって学ぶ姿

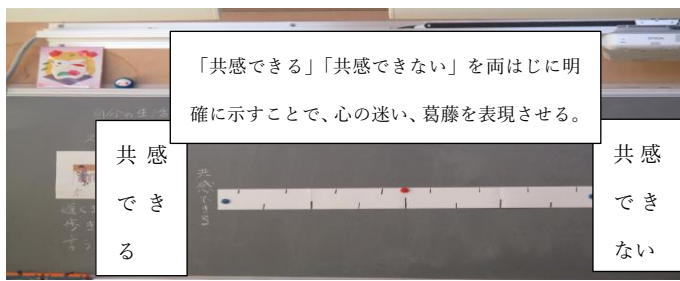
| 時間 | 場面 | 学習活動（夢中になって学んでいる姿） | 資質・能力等 |
|---------|----------------|--|--|
| 1 | 対話する 習得する | 学級活動「SNSの使い方について考えよう」 ・ SNSにはどのようなものがあるのか確認し、生活の中で気を付けなければいけないことを考え、積極的に意見交換をしている。 | ・ SNSの便利な点とともに、注意しなければならないことを自分事として考え、意見交換している。 |
| 2 本時 | 考える 自己を見つめる | 道徳「スマホに夢中！」 ・ SNSの使い方について考え、危険とわかっていても使用の仕方を変えなかった（変えられなかった）のはなぜか考え、積極的に意見交換をしようとしている。 ・ 主人公の生活が変わらないままだったらどうなるのか考えるとともに、他の生徒の意見を聞こうとしている。 | ・ 主人公の気持ちに共感できるかどうか自分事として考えている。 ・ 事故を起こした主人公の行動や心情について考え、安全で調和のある生活を送ろうとしている。 |

2 本時における研究の視点

視点Ⅰ【見方・考え方を働かせながら学びを自分事として捉える指導の工夫】

- ① 主人公の行動と自分の経験を重ね合わせて考え、主人公と自分の共通する点や相違点を見出す発問をする。

- 主人公の行動に共感できるかどうか考える。自分の気持ちや考えを「心のものさし」で考え、級友の考えに触れながら意見交換する。



- ② 「節度・節制」についての理解をもとに、級友と意見を共有し、自身の考えを広げられるようにする。

- 「節度・節制」についての具体的なイメージを広げ、広がったイメージをもとに自分の生活を振り返り、「できていること」「できていないこと」「気を付けていること」などについて意見交換しながら表現する。

<生徒の話し合いから>

- 時々夜遅くまでスマホを使ってしまう。
- 歩きスマホは危険なのでしないようにしている。
- 学習中、スマホは気になるが、気にしないように注意している。でも、やっぱり気になる。

視点Ⅱ【学びの連続性につながる振り返り】

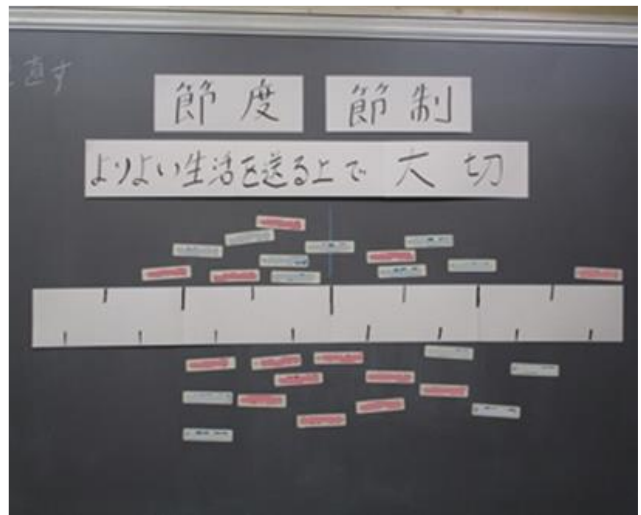
- 「ながらスマホ」や「夜ふかしスマホ」など教材を活用して話し合ったことを生かして、自分の内面や生活をもう一度見つめ直させる。

<生徒の振り返りから>

- 主人公のように、「ながらスマホ」はよほど注意しなければならない。油断すると危ない。
- 学習する時、スマホがやはり気になる。スマホを近くに置かないなど工夫していきたい。

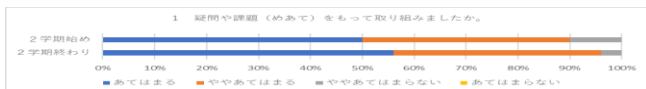


★板書を創る【本時のねらいに基づいた板書案の作成】

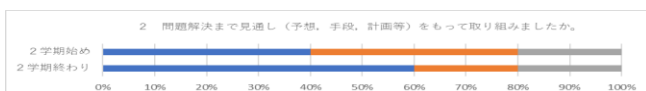


3 アンケートの結果から

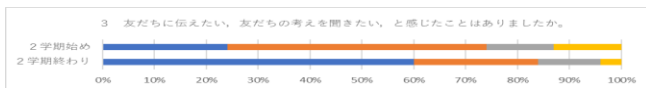
① 関心・意欲、課題意識



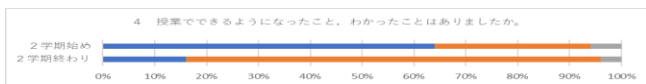
② 見通し



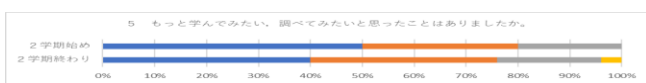
③ 話し合い・学び合い(協働の学び)



④ 振り返り



⑤ 新たな学びへ (学びの連続性)



4 考察【○成果 ●課題と改善策】

【視点Ⅰ】

○ 自分の気持ちを「心のものさし」で表し、自分の行動を客観的に見つめ振り返ることができた。また、教材中の主人公に共感できるかどうかについて、級友と理由、根拠を交えて話し合うことで多面的・多角的に考えることができた。

● 授業後に課題として、本日の家庭学習を行う際、主人公の名前をとり「奈美恵度チェック」を実施した。すると生徒の半数以上が自分の不十分さを振り返っていた。授業の中でこそ主人公と自分を重ね合わせるこのような時間を確保すべきだった。

● 「節度・節制」の意味が難しく、生徒からの外れな意見が出るがあった。「度を超えて生活すること」「ながら〇〇する」「〇〇のしすぎ・・・」などの分かりやすいイメージを生徒から引き出し、共有すべきであった。教材に描かれている「ながらスマホ」以外の例を考えさせて、意見交換できればさらに自分の経験に即した意見を出すことができたと考えられる。

【視点Ⅱ】

○ 主人公と自分の経験を重ね、自分事として考える中で、自分のこれまでの経験や生活を見つめ直すことができた。

● 振り返りについて、級友と意見交換する時間を十分に確保できなかった。もっと自分のことを顧みる時間を大切にすべきだった。

● 特に話し合いの場面ではスマホの使い方等の「方法論」に話がいきがちであった。「なぜそう考えるのか」「自分の生活でしっかりできているか」等問い返しをして考えを深めさせたい。

【その他】

「心のものさし」について、黒板で名札を用いて活動したが、タブレットを使って活動することもできた。ワークシートについても、タブレットを使って生徒同士の意見の共有もできたと感じた。これから有効に活用していきたい。

実際の指導案はこちらへ